

授業科目名	台湾企業インターンシップ II
科目番号	01ER901
単位数	15 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春 AB 応談
担当教員	Hsinyu Lee
授業概要	台湾において、企業や研究所等の学外の協力拠点に出向き、就業体験を行う。台湾企業インターンシップ I よりも長期間のインターンシップを可能とする。台湾の企業風土や文化を学習することに加え、学習内容を特定課題研究執筆や就職へ活用することを目指す。そのため、就業先での学習とともに、担当教員、研究指導教員やメンター教員等から学習内容の特定課題研究や就職への活用について指導を受ける。インターンシップの成果はレポートとしてまとめ、成果報告会で発表する。
備考	国立台湾大学にて英語にて実施。国際連携食料健康科学専攻の学生向け
授業形態	実習・実験
教育目標との関連	就業体験学習を通して、特定課題研究報告を執筆し、就職することを可能にする。
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分でインターンシップ先を調べて、就業体験することができる。 2. 体験した業務内容および就業を通して学び考えたことをまとめ発表することができる。 3. 「食料」と「健康」の問題に関し、研究開発と社会的要請の関係について考察できる。 4 インターンシップ体験を特定課題研究の執筆に生かすことができる。 5. 就職活動の対象企業を見つけることができる。
授業計画	<p>インターンシップが始まる前に、学生は、担当教員・研究指導教員・メンターとともにインターンシップと特定課題研究・就職との関連について話し合う。インターンシップ先では得にくい知識や技術についてさらに学ぶ必要がある場合、これら学内教員から学習することができる。この指導時間は本科目の授業時間数に含むことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インターンシップ説明会 2. インターンシップ学習の実施 3. レポート提出ならびに報告会
履修条件	必ず担当教員と密な連絡の上、企業側へ申請のこと
成績評価方法（割合・評価基準・提出期限等）	レポート（50%）と報告会での発表内容と質疑応答（50%）により判定する。評価は、A+、A、A-、B+、B、B- および不合格（C+、C、C-）とする。 B-以上の評価には 8 割以上の出席を必要とする。
授業外における学習方法	GLidD の G-career に取り組むこと
教材・参考文献・配付資料等	別途通知
オフィスアワー	<p>担当教員： Hsinyu Lee 電子メール：hsinyu@ntu.edu.tw 学生は事前に問い合わせのこと</p>
その他（学生に望むこと等）	
関連科目	<p>台湾企業インターンシップ I キャリアパス・セミナー 日本企業インターンシップ フランス企業インターンシップ</p>
キーワード	インターンシップ、企業